

平成25年5月14日

【記者発表資料】

国道3号黒崎バイパス・新若戸道路の整備効果について

平成24年9月15日（土）に新若戸道路（L=2.3km）、平成24年9月30日（日）に黒崎バイパス（北九州都市高速道路接続区間；L=1.2km）が開通し、都市高速道路に接続しました。この開通による整備効果について、お知らせします。

●交通量の変化について

黒崎バイパスと新若戸道路の開通により、周辺道路の負荷が軽減し、黒崎地区の都市高速道路の利用が増加【別紙-1 参照】

●主な整備効果

1. 黒崎バイパス

①所要時間の短縮 ～モノづくりの街を支える道路ネットワーク～

- 北九州学術・研究都市（新技術やアカデミックな分野を担う拠点）から小倉都心部（商業・物流拠点）への速達性が向上（約20分短縮）
- 奥洞海湾工業地域から物流拠点への速達性が向上（約12分短縮）【別紙-2 参照】

②所要時間の短縮 ～命を救う道路ネットワーク～

- 搬送時間が短縮するとともにルートを選択肢が増え、救急活動に大きく貢献【別紙-3 参照】

③交通混雑の緩和 ～円滑で快適な生活を支える道路～

- 黒崎バイパスの開通により、周辺道路の渋滞箇所が大幅に減少【別紙-4 参照】

2. 新若戸道路

①所要時間の短縮 ～産業の発展を支援する物流ネットワーク～

- 響灘地区（物流・産業拠点）から小倉都心部（商業・物流拠点）や新門司地区（物流拠点）への速達性が向上（約8分短縮）【別紙-5 参照】






②交通混雑の緩和 ～快適な生活や物流を支える道路～

- 新若戸道路の開通に伴い、若戸大橋口交差点の渋滞が解消【別紙-6 参照】

③道路の信頼性向上 ～安心して利用できる道路～

- 洞海湾を横断する経路が2ルート確保されたことにより、時間信頼性や通行信頼性の面で地域の生活交通を支援【別紙-7 参照】

【お問い合わせ先】

問い合わせ内容	所属	担当者	電話番号
 黒崎バイパス	国土交通省 北九州国道事務所 技術副所長	おおなり 大成 かすあき 和明	093-951-4331
 新若戸道路	国土交通省 北九州港湾・空港整備事務所 企画調整課長	かねこ 金子 かすひさ 和寿	093-321-4634
 黒崎バイパス接続市道 新若戸道路	北九州市 建設局 道路部 街路課長	いしかわ 石川 せいじ 靖治	093-582-2191
 北九州都市高速道路	福岡北九州高速道路公社 企画部 企画課長	さくらい 櫻井 あきお 章生	092-631-3291
 若戸大橋、新若戸道路	北九州市道路公社 事務局長	にしおか 西岡 りくお 陸郎	093-881-2183

【開通区間の概要(黒崎バイパス・新若戸道路)】

新若戸道路 概要

整備目的

- 新若戸道路は、響灘地区への産業立地や事業拡大など、将来的な地域経済の発展に資するべく、下記の3点を目的とした事業
 - ①響灘地区からの物流を支える交通ネットワークの形成
 - ②若戸大橋の慢性的な渋滞解消
 - ③響灘地区から小倉方面へのスムーズな交通アクセスの確保

事業概要

- 新たに洞海湾を横断して若松区と戸畑区を結接する道路であり、響灘地区へのアクセス道路として、また若戸大橋を補完する幹線道路として、平成24年9月15日に開通し、都市高速道路にも接続。
- 国際交流インフラ推進事業の指定を受け、物流拠点とアクセス道路の一体整備を推進するもので、橋梁構造である若戸大橋とのリダンダンシーを確保するために、沈埋トンネル構造を採用。

開通状況 (戸畑側出入口付近)

写真①; 戸畑方向から若松方向を臨む



黒崎・若戸地区概要図



黒崎バイパス 概要

整備目的

- 黒崎バイパスは、下記の2点を目的とした事業
 - ①黒崎周辺の交通混雑の解消
 - ②北九州港等への連絡強化による地域産業の活性化支援 (北九州都市高速道路等と一体となった自動車専用道路ネットワークの形成)

事業概要

- 国土交通省北九州国道事務所と北九州市が連携して整備を進め、平成24年9月30日に黒崎バイパスが都市高速道路に接続。

開通状況 (前田ランプ出口付近)

写真②; 小倉方向から福岡方向を臨む



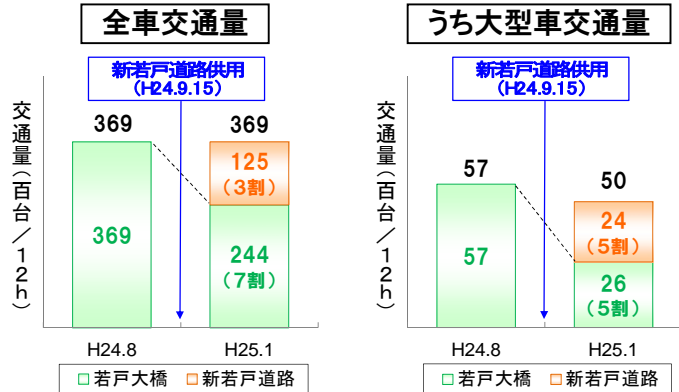
【交通量の変化について①(黒崎バイパス・新若戸道路の利用交通量の推移)】

黒崎バイパスと新若戸道路の開通により、交通量が転換することで周辺道路の負荷が軽減

新若戸道路 利用交通量の推移

【下図 断面A】

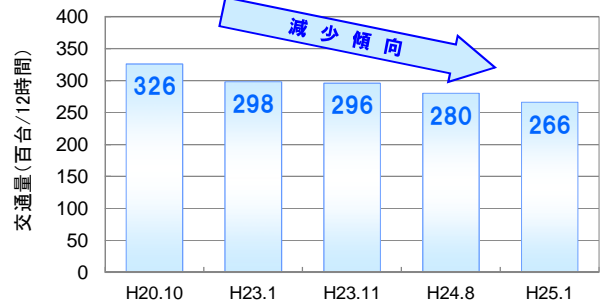
若戸大橋を利用していた交通量の約3割の交通が新若戸道路に転換(125百台/12時間)。大型車に着目すると約5割が転換。



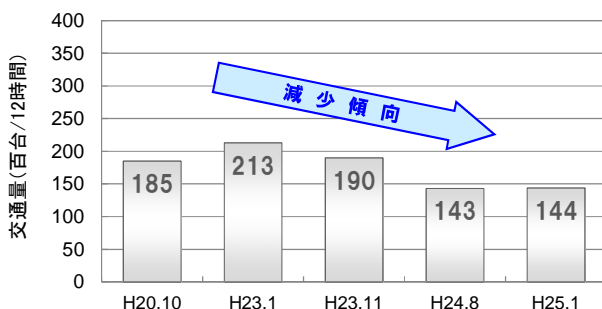
黒崎バイパス 利用交通量の推移

周辺道路からの交通転換により、黒崎バイパス(黒崎北ランプ～皇后崎ランプ間)を利用する交通量は増加傾向にある。

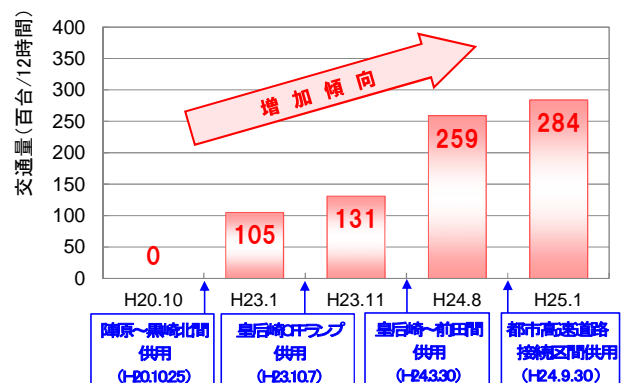
■国道3号【上図 断面B】



■(県)本城熊手線【下図 断面C】



■黒崎バイパス【下図 断面D】

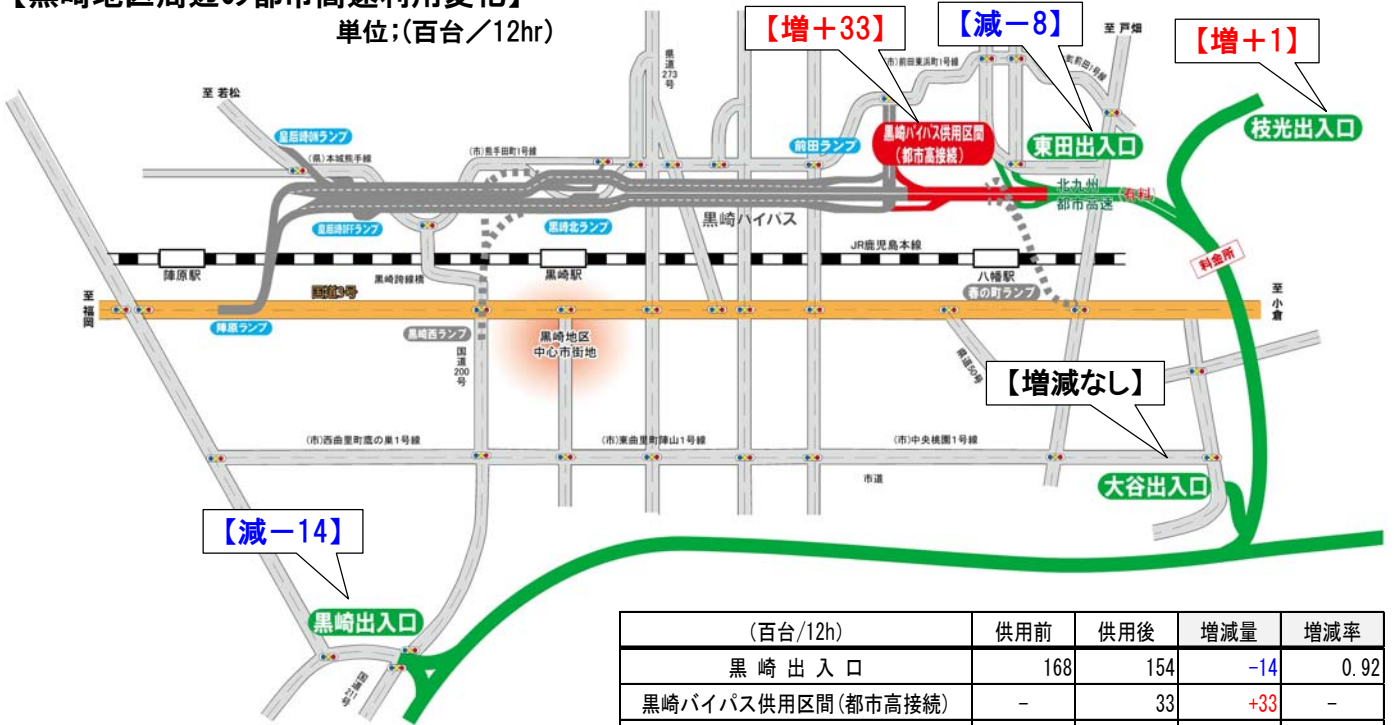


【交通量の変化について②(都市内高速道路の利用増加)】

くろさき 黒崎バイパスと都市高速の接続により、黒崎地区において都市高速の利用が約 1,000 台増加
 ~都市高速へのアクセス性向上~

【黒崎地区周辺の都市高速利用変化】

単位:(百台/12hr)



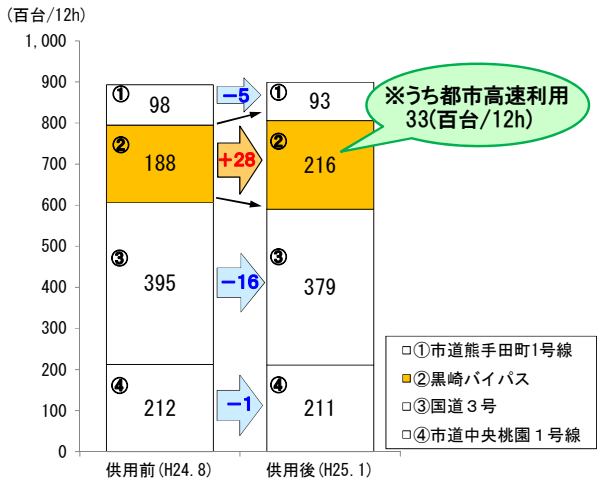
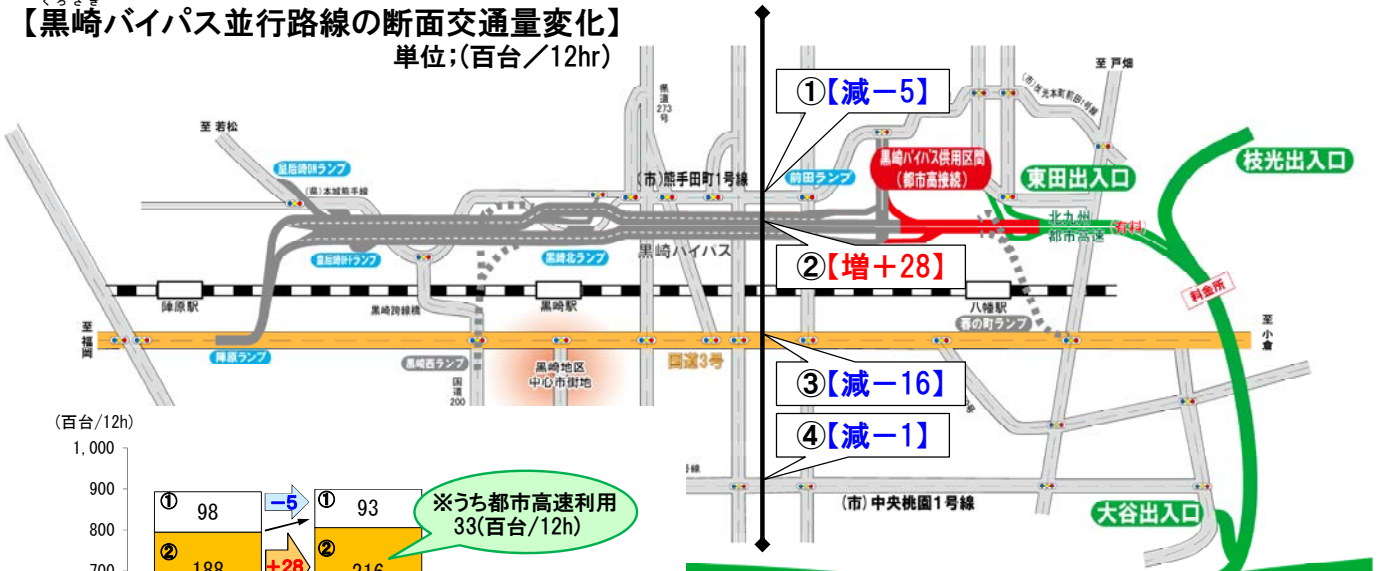
出入り交通量合計増加!!

(百台/12h)	供用前	供用後	増減量	増減率
黒崎出入口	168	154	-14	0.92
黒崎バイパス供用区間(都市高接続)	-	33	+33	-
東田出入口	20	12	-8	0.60
枝光出入口	32	33	+1	1.03
大谷出入口	38	38	0	1.00
合計	258	270	+12	1.05

※福北公社提供データより

【黒崎バイパス並行路線の断面交通量変化】

単位:(百台/12hr)

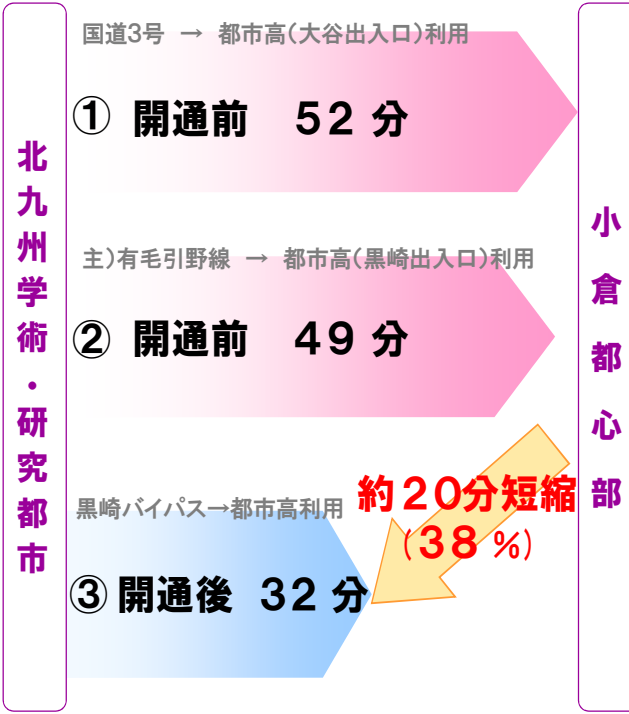


くろさき
【黒崎バイパス開通による主な整備効果】

①所要時間の短縮 ～モノづくりの街を支える道路ネットワーク～

○北九州市学術・研究都市周辺から小倉都心部への速達性が向上(約20分短縮)
(新技術やアカデミックな分野を担う拠点) (商業・物流拠点) 【黒崎バイパスー都市高速利用ルート】

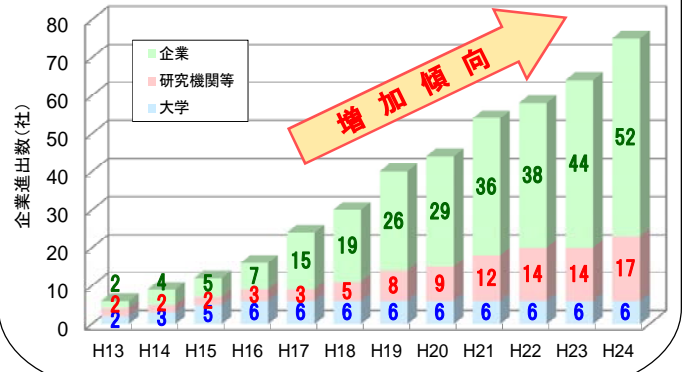
【所要時間の変化】



※所要時間算出データ
 <開通前>: H22道路交通センサス
 <開通後>: 民間プローブデータ(H24.10)

※各拠点の基準位置
 ○北九州学術・研究都市: ひびきの入口交差点
 ○小倉都心部: 小倉駅前交差点

【参考】北九州学術・研究都市に進出している企業は年々増加



道路利用者の実感

【北九州学術・研究都市周辺 企業ヒアリング調査結果】

北九州学術・研究都市企業の声

商談や業務打合せに向かう時、接続前までは主)有毛引野線(ありげひきの)を通過して、黒崎ランプ(くろさき)から乗降していたのが、接続後は黒崎バイパス(くろさき)を利用して都市高速道路を利用するようになりました。



▼黒崎バイパスの都市高速接続後の移動ルートの変化



【黒崎バイパス周辺企業従業員アンケート調査結果】

黒崎バイパス周辺企業 従業員の声

黒崎バイパスが都市高速道路に接続して、スムーズな走行が可能になったので、出勤時に所要時間短縮効果を実感しています。



○奥洞海湾工業地域から物流拠点への速達性が向上(約12分短縮)
(新門司地区) 【黒崎バイパス-都市高速利用ルート】

【所要時間の変化】

奥洞海湾沿岸工業地域

国道3号 → 都市高(大谷出入口)利用

① 開通前 47分

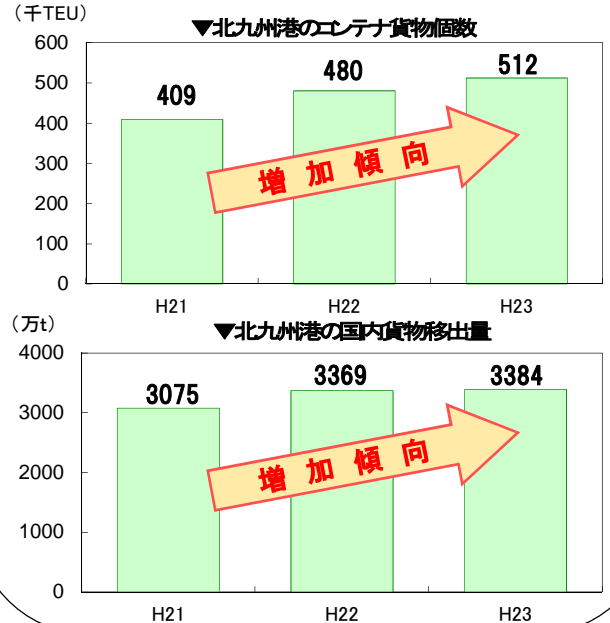
約12分短縮
(26%)

② 開通後 35分

新門司地区

※所要時間算出データ
<開通前>: H22道路交通センサス
<開通後>: 民間プローブデータ(H24.10)
※各拠点の基準位置
○奥洞海湾沿岸工業地域、本城橋交差点

【参考】北九州港(新門司地区を含む)のコンテナ取扱量及び国内貨物移出量は増加傾向

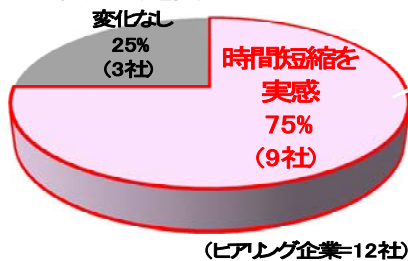


道路利用者の実感

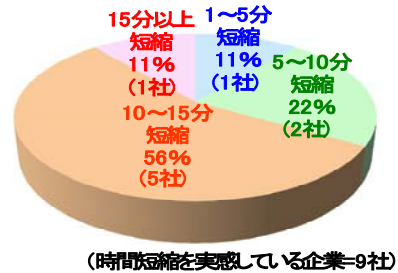
【黒崎バイパス周辺、北九州学術・研究都市周辺 企業ヒアリング調査結果】

約8割の企業が、物流所要時間短縮効果を実感

Q 都市高速道路接続区間の開通で、業務活動への影響を感じられましたか? (企業の物流活動を把握している担当の方へ聞きました)



Q 都市高速道路接続により、どの程度の時間短縮効果を感じられていますか? (時間短縮を実感している方へ聞きました)



黒崎バイパス周辺企業の声



新門司方面へ向かう場合に黒崎バイパスを利用していますが、物流にかかる所要時間の短縮効果を実感しています。また、黒崎バイパスができたことによって、自動車の燃料費削減にも繋がっています。

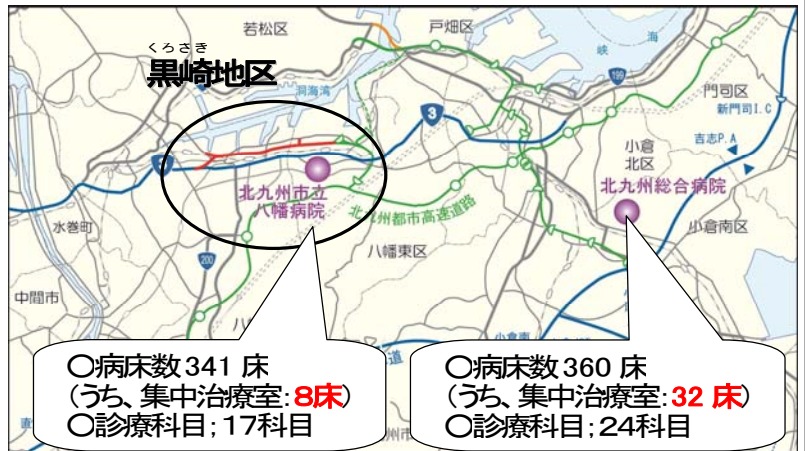
②所要時間の短縮 ～命を救う道路ネットワーク～

○搬送時間が短縮するとともにルートを選択肢が増え、救急活動に大きく貢献

【北九州市内の第3次救急医療病院】

- 北九州市立八幡病院
- 北九州総合病院

心筋梗塞や重症熱傷などの重症患者は、第3次救急医療施設に搬送される。現在、黒崎地区の第3次救急医療施設は、「北九州市立八幡病院」があるが、空き病床がない場合には、北九州総合病院まで搬送することとなる。(消防署ヒアリング結果)



【所要時間の変化】

国道3号 → 都市高(大谷出入口)利用

折尾地区

① 開通前 38分

黒崎バイパス→都市高利用

② 開通後 23分

約15分短縮 (39%)

北九州総合病院(第3次医療)

国道3号 → 都市高(大谷出入口)利用

北九州学術・研究都市

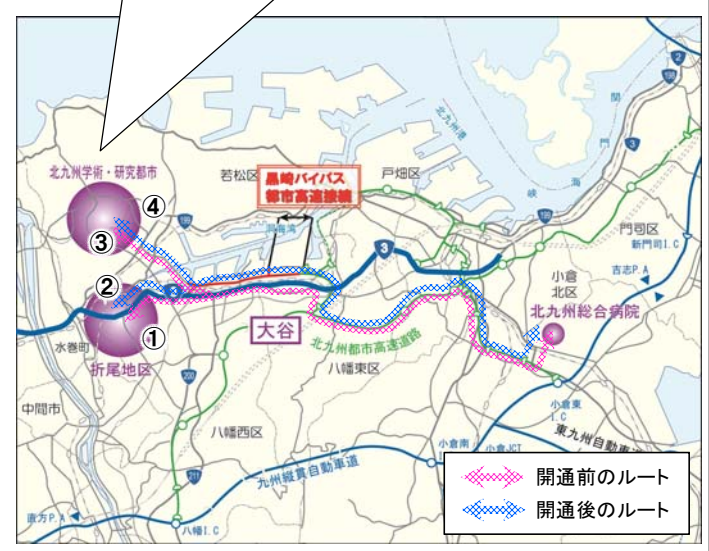
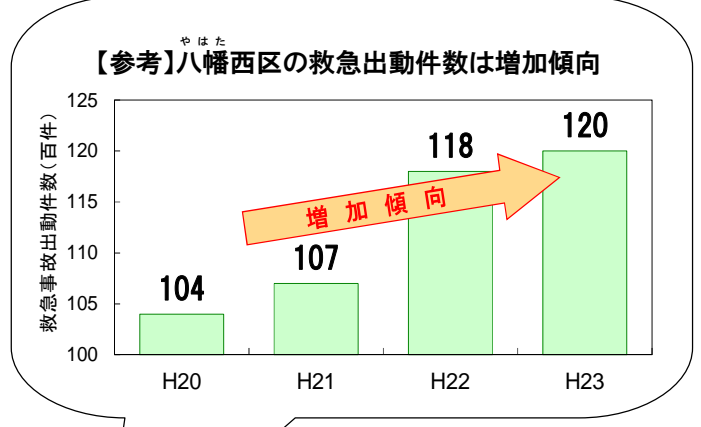
③ 開通前 41分

黒崎バイパス→都市高利用

④ 開通後 27分

約14分短縮 (34%)

※所要時間算出データ
 <開通前>: H22道路交通センサス
 <開通後>: 民間プローブデータ(H24.10)
 ※各拠点の基準位置
 ○北九州学術・研究都市: 塩屋3丁目交差点
 ○折尾地区: 則井交差点



道路利用者の実感

【黒崎地区消防ヒアリング調査結果】

消防署員の声

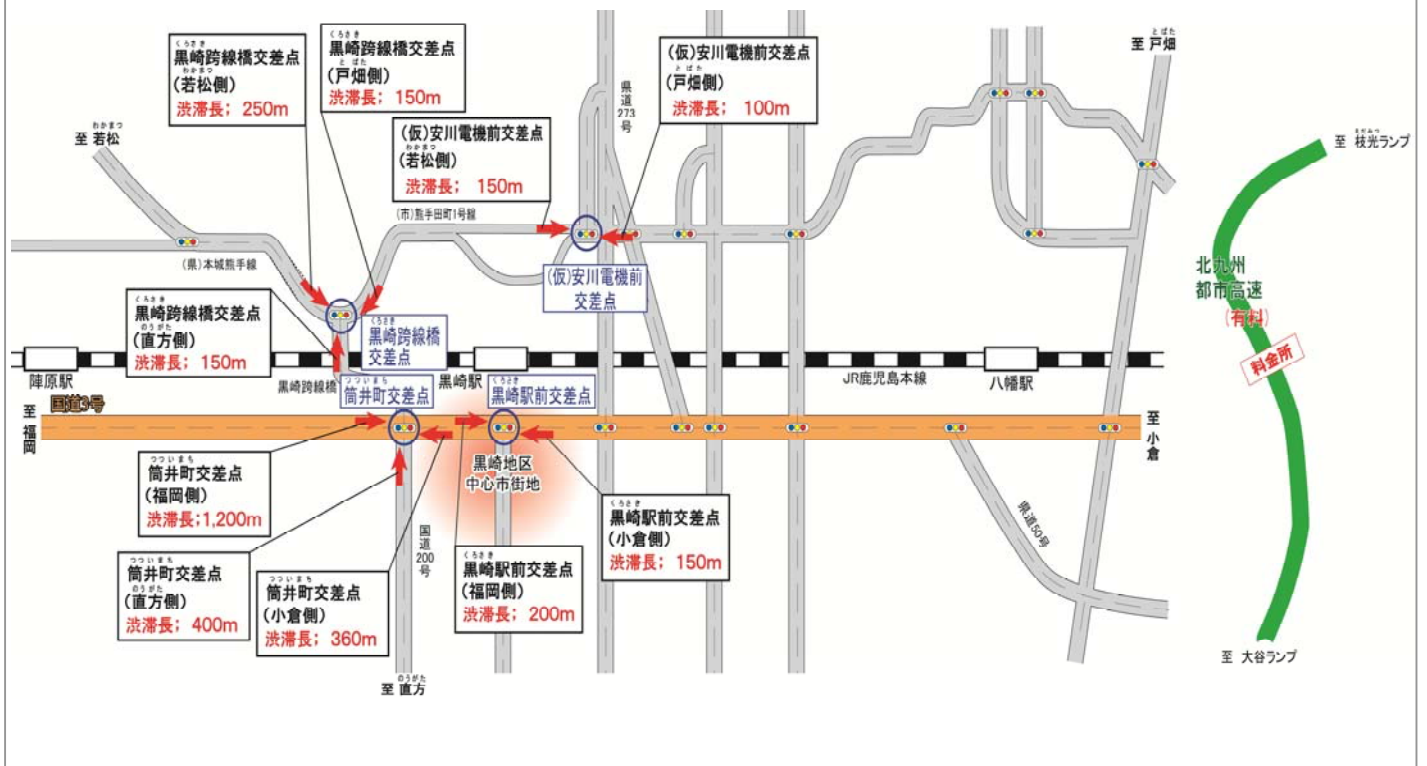


都市高速道路への接続により、小倉方面への搬送を視野に入れることができるようになったと同時に、搬送ルートを選択肢が増え、ルート選択に迷いなくなりました。1分1秒を争う救急搬送の現場にとって大変ありがたいです。

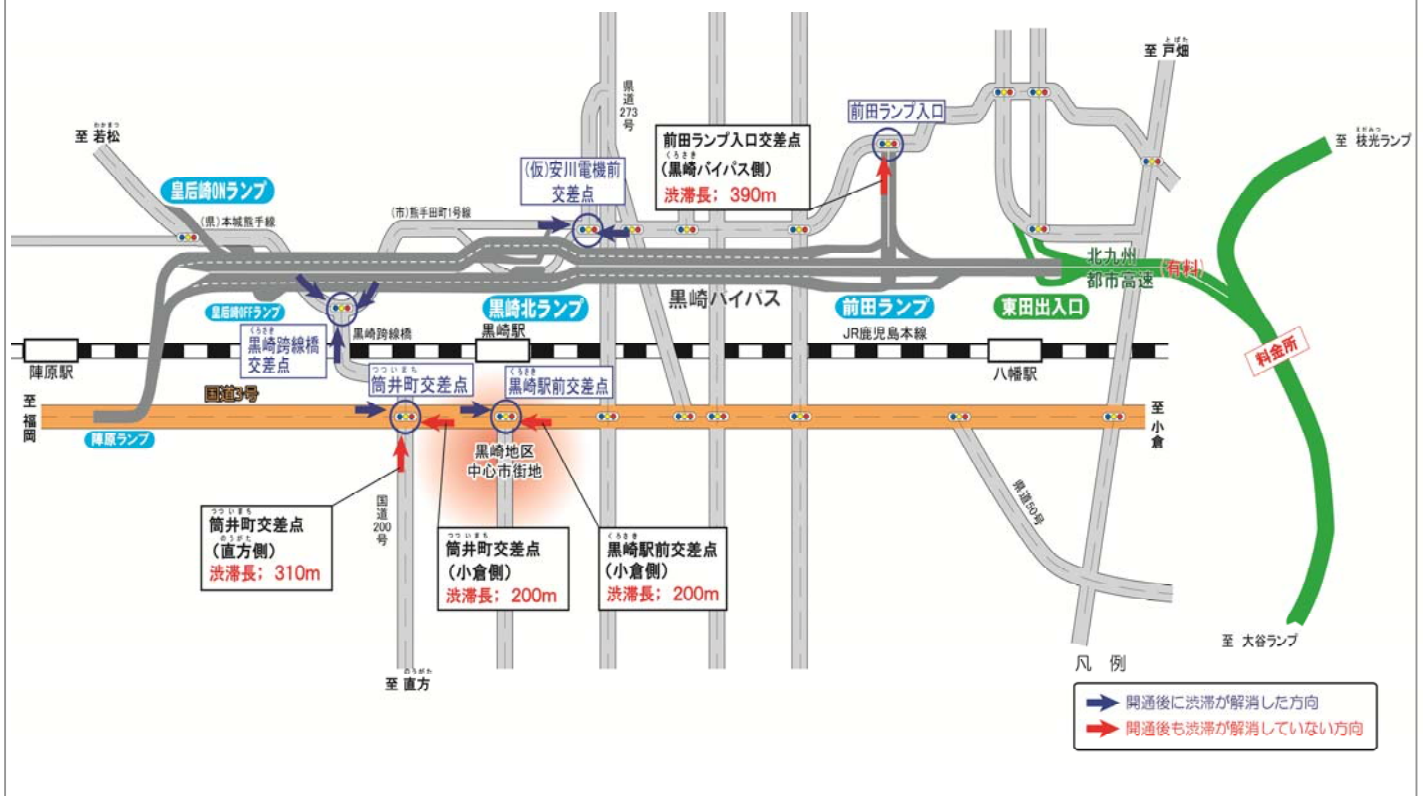
③交通混雑の緩和 ～円滑で快適な生活を支える道路～

くろさき ○黒崎バイパスの開通により、周辺道路の渋滞箇所が大幅に減少

① 黒崎バイパス 未開通時 (H20.10.25 以前)

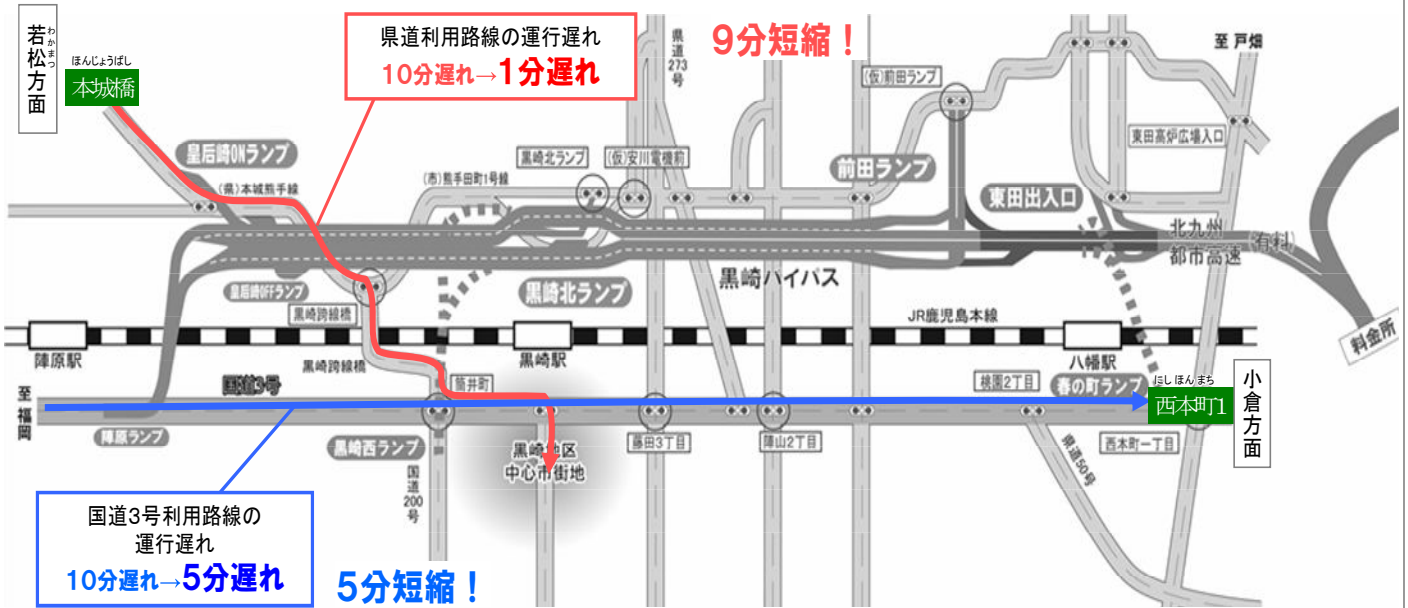


② 黒崎バイパス 都市高速道路接続後 (H24.9.30 開通後)



道路利用者の実感

【バス事業者ヒアリング調査結果】



バス事業者の声



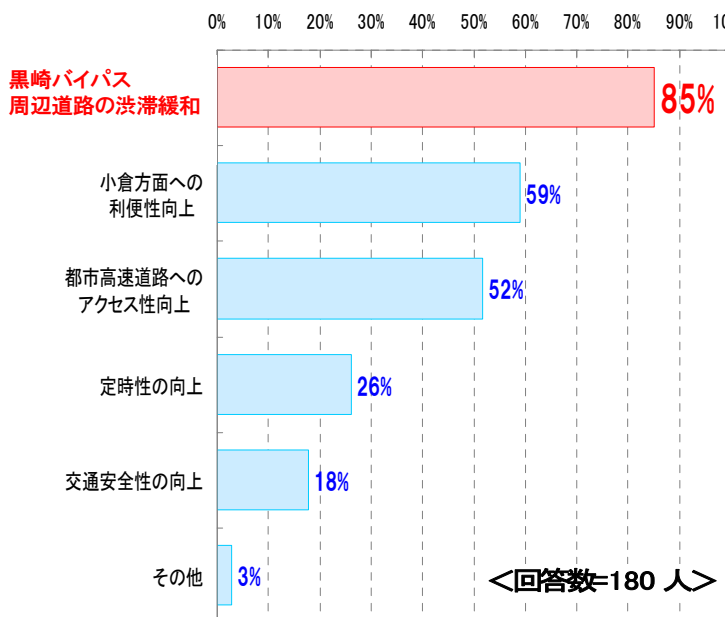
国道3号利用
バス事業者

黒崎バイパス開通前は、黒崎駅周辺が混雑するため、バス運行時に最大10分遅れが発生するなど、お客様からクレームなどが多数ありました。開通後は**バスの遅れも徐々に少なくなった**ため、お客様からの**クレームも少なくなりました**。

【北九州学術・研究都市周辺 住民アンケート調査結果】

約9割の方が、黒崎バイパス周辺の道路について渋滞緩和を実感

Q 現在(都市高束道路新線後)の黒崎地区の道路について感じる効果を教えてください。(複数回答可)
※黒崎バイパス周辺道路: 国道3号、黒崎バイパス高架下の道路<(県)本城熊手線、(都)前田熊手線>



▼住民アンケート調査 実施エリア図



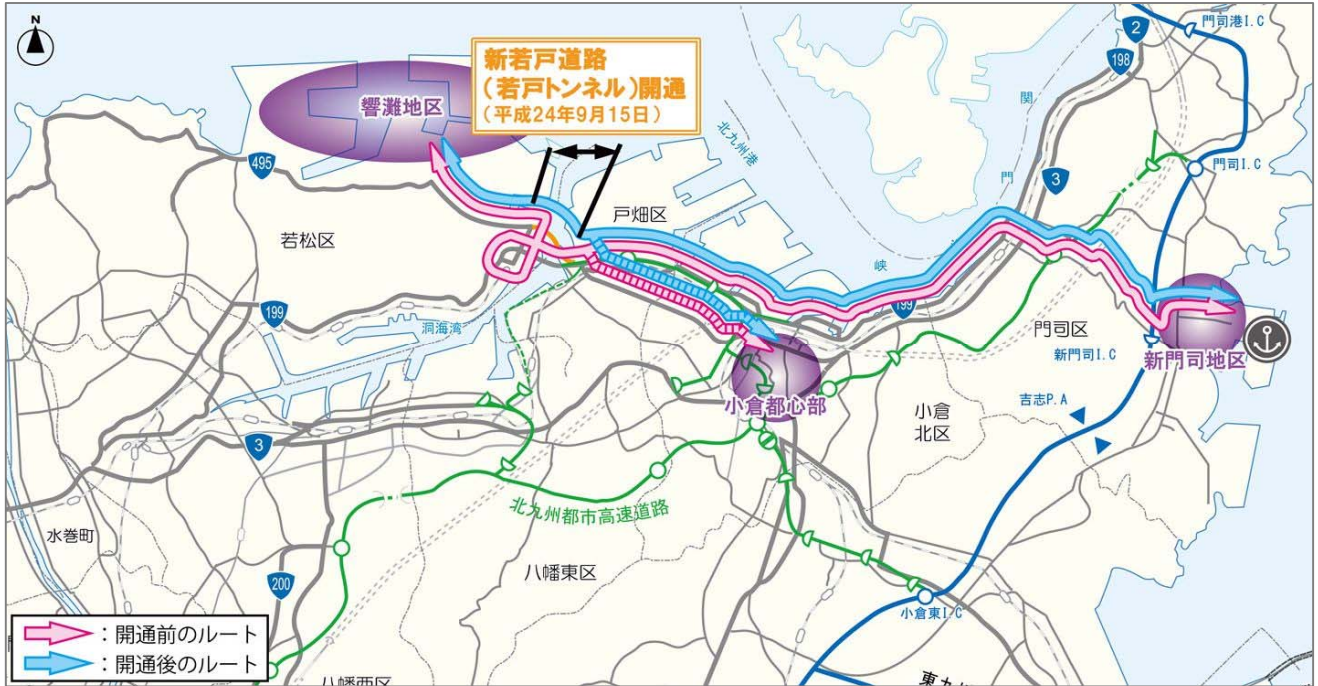
※住民アンケートは、下記地域の住民の方々を対象に実施
 (八幡西区)・本城学研都市1丁目、2丁目、3丁目
 (若松区)・小敷ひびきの3丁目
 ・塙屋2丁目、3丁目
 ・ひびきの南1丁目、2丁目

わかと
【新若戸道路開通による主な整備効果】

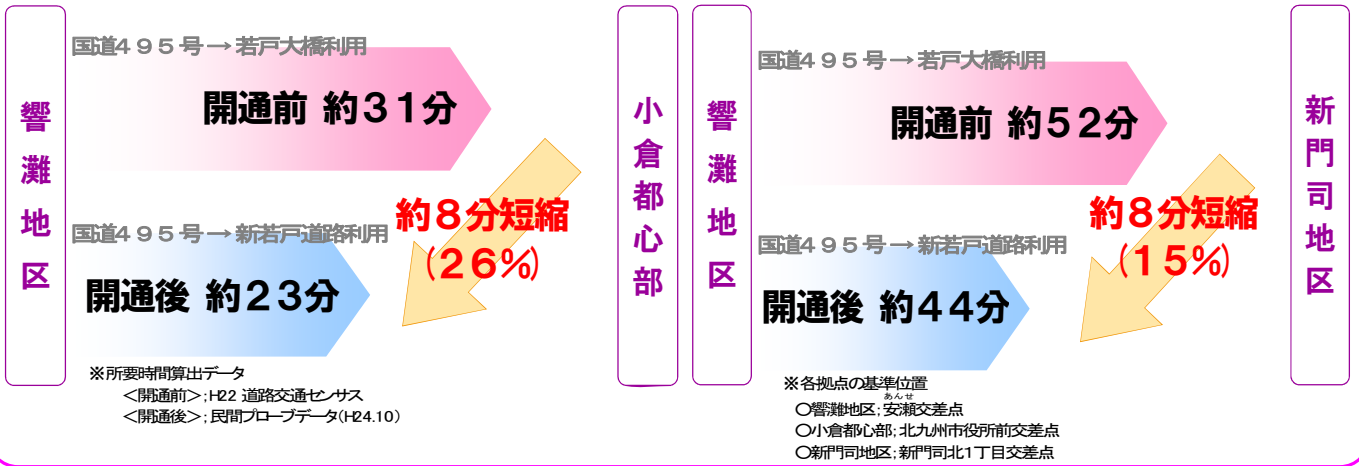
①所要時間の短縮 ～産業の発展を支援する物流ネットワーク～

ひびきなだ
○響灘地区から小倉都心部・新門司地区への速達性が向上(約8分短縮)
(物流・産業拠点) (商業・物流拠点) (物流拠点) 【新若戸道路—一般道路利用ルート】

若松地区経由ルートの変化 【朝・夕ピーク時旅行速度調査結果】

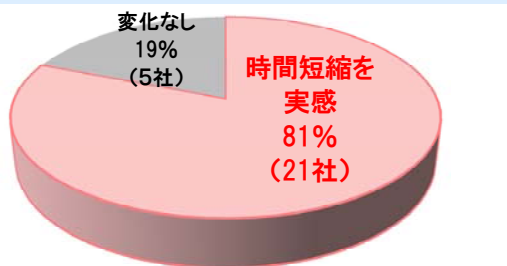


【所要時間の変化】 ※若戸大橋・新若戸道路以外は一般道を利用



道路利用者の実感 【響灘地区関連事業所アンケート調査結果】

わかと
約8割の企業が、新若戸道路利用による時間短縮効果を実感



わかと
▲ 新若戸道路の開通効果

ひびきなだ
響灘地区を利用する物流企業の声



物流企業
担当者

出退勤時、運送時ともに、交通混雑が減少したので、若松～戸畑間の移動時間が5～15分程度短縮しました。

②交通混雑の緩和 ～快適な生活や物流を支える道路～

○新若戸道路の開通に伴い、若戸大橋口交差点の渋滞が解消

若戸大橋の渋滞状況(開通前 朝ピーク時)



若戸大橋口交差点

開通後



若戸大橋口交差点



新若戸道路 (若戸トンネル)開通 (平成24年9月15日)

若戸大橋口交差点

若戸大橋口交差点 若戸大橋方向からの交通渋滞の変化

【朝ピーク時】

渋滞長(m)

開通前 (H24.8)

600m(約6分)

開通後 (H25.1)

渋滞解消

※()内は通過時間

最大信号3回待ちの渋滞が発生!

【夕ピーク時】

渋滞長(m)

開通前 (H24.8)

600m(約4分)

開通後 (H25.1)

渋滞解消

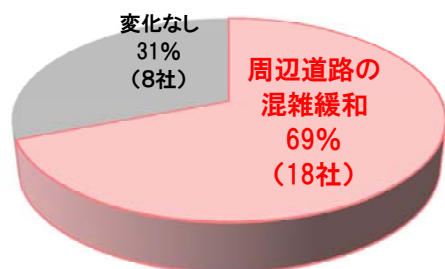
※()内は通過時間

最大信号2回待ちの渋滞が発生!

道路利用者の実感

【響灘地区関連事業所アンケート調査結果】

約7割の企業が、新若戸道路の開通後、周辺道路の交通混雑が緩和したと実感



(アンケート回答企業=26社)

▲ 新若戸道路の開通効果

響灘地区を利用する事業所の声



製造企業担当者

朝・夕を中心に若松中心部の交通量が減少し、若戸大橋の渋滞が解消しました。

響灘地区

響灘・若松地区の交通の流れが良くなり、**運転中のストレスが軽減しました。**



物流企業担当者

③道路の信頼性向上 ～安心して利用できる道路～

〇洞海湾を横断する経路が2ルート確保されたことにより、
時間信頼性や通行信頼性の面で地域の生活交通を支援

【これまでの物流は・・・】

若戸大橋が通行できない場合は、洞海湾を経由せざるを得ないため、迂回距離・時間が2倍強。

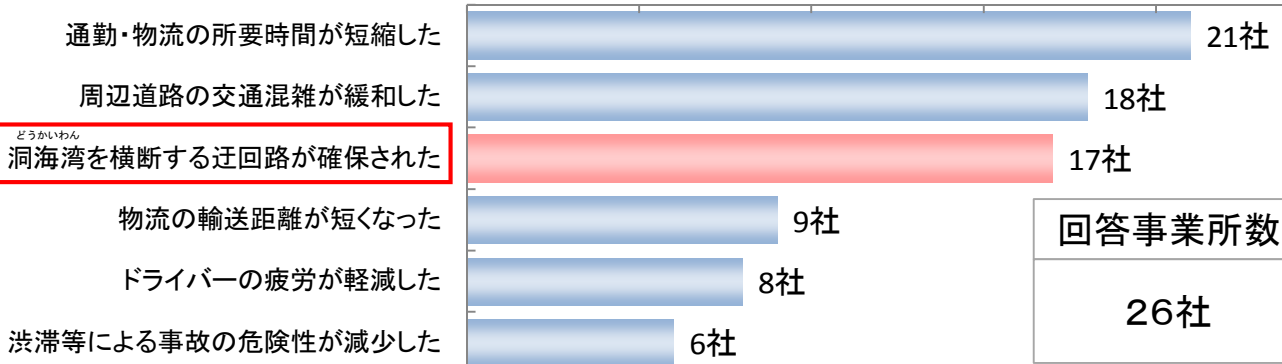
⇒ 新若戸道路の整備により、若戸大橋を代替する輸送経路を確保。



道路利用者の実感

【響灘地区関連事業所アンケート調査結果】

「時間短縮」「混雑緩和」に次いで、「迂回路確保」の効果を実感



(出典: 事業所アンケート調査)

▲ 新若戸道路の開通効果として実感している項目

響灘地区を利用する物流企業の声

洞海湾を横断するルートが2箇所(若戸大橋・新若戸道路)となったため、事故や災害が発生しても、**大幅な迂回を強いられる心配がなくなりました。**

